

森林利用学会 第15回学術研究発表会・シンポジウムのご案内

森林利用学会 第15回学術研究発表会，シンポジウムを下記のとおり開催いたします。
奮ってご参加ください。

1. 日程

平成20年11月15日(土) 午後 シンポジウム・懇親会

11月16日(日) 午前・午後 学術発表会

場所 東京大学農学部2号館化2教室

2. シンポジウム

テーマ：「森林利用学の今と明日を問う」

趣旨：各地で林業機械化や路網整備に対する取り組みが行われている。森林資源の成熟化、提案型集約施業の取り組みなどにより、機械の適正サイズ、あるいは事業量の拡大が課題になってきている。一方で新生産システム事業等の事業が各地で展開を始め、流通加工、あるいは川上の更新までも視野に入れて、広い展望と長期的視点が求められている。日本の作業現場に適した機械化、作業システム、路網体系の進むべき方向に対して、今の森林利用学の学問的成果はどこまで到達し、将来戦略的に何が必要で、学会および森林利用学分野の果たすべき使命は何かを考究する。

基調講演

酒井秀夫(東京大学)：森林利用研究の現状と今後の取り組み課題

パネルディスカッション・パネラー —各研究分野の立場から—

後藤純一(高知大学)：林業機械化と路網

田中良明(森林総合研究所)：作業システム

木幡靖夫(道立林業試験場)：列状間伐と低コスト作業システム

仁多見俊夫(東京大学)：林業機械化と情報化

野田英志(森林総合研究所)：流通加工

コーディネータ 酒井秀夫

3. 研究発表会

参加費 1,000円

発表の方法 口頭発表

発表・参加申込 別紙参加・発表申込書に必要事項を記入の上、要旨(A4版1ページ、執筆要領を参照)を添えて10月17日(金・必着)までに下記連絡先にお送りください。

今回の森林利用学会学術研究発表会から、「**学生優秀論文発表賞**」制度が開始されます。受賞の対象は、他の模範となる発表を行った学生会員の講演者とし、学術研究発表会に参加した一般会員の投票をもとに受賞者を決定します。学生会員の皆様は、この機会に是非日頃の成果をご発表下さい。

なお、対象者確認のため、学生会員による講演の場合には、参加・発表申込書右上余白部に赤字で「学生」の文字を記入してください。

4. 懇親会

参加費 4,000円程度を予定 (場所未定)

問い合わせ先

〒113-8657 東京都文京区弥生1-1-1

東京大学大学院農学生命科学研究科 森林利用学研究室

櫻井 倫

Tel: 03-5841-5205 Fax: 03-5841-7553 E-mail: sakurai@fr.a.u-tokyo.ac.jp

要 旨 執 筆 要 領

1. 発表資格など

筆頭発表者および講演者は会員に限り、1人1件を限度とします。ただし、共同研究者についてはその限りではありません。また講演内容は既に結論を得ているもので、かつ未発表のものとして扱います。

2. 書式

A4版を縦に使用し、横書きを原則とします。また余白を上下左右に20mm程度確保してください。文字サイズは10.5ポイントとします。お送りいただいた原稿はそのまま版下として使用します。したがって図表などを挿入する場合は本文中にきちんと配置し、貼り込まれた状態でお送りください。別紙としてお送りいただきましても対応いたしません。

3. 表記法

表題・見出し・本文・引用文献等の表記は森林利用学会誌本誌の執筆要領に準じます。

4. キーワード

本文の後に1行空けて、内容を良く表すキーワードを5個以内で記入してください。